



北海道立農業大学校

聖鋤会報

発行所
北海道立農業大学校
同窓会

中川郡本別町西仙美里25-1
電話 0156-24-2122
編集 事務局

今年を振り返って



北海道立農業大学校同窓会

会長 若井 和博

実りの秋を終え、日高山脈も白く雪に覆われた季節となりました。寒さも本格的になる中、同窓会の皆様におかれましては全国各地で御活躍のことと推察いたします。

この一年を振り返ってみますと、本当に天候に左右された年ではなかったでしょうか。地球温暖化の中で、少しでも多くの収量と願いながら管理作業を進めてきましたが、出来秋はままならぬものでした。それは畑作に限らず、畜産関係も例外ではなかったと考えます。自然と共に生きる難しさを痛感させられました。

それは品目横断的政策から戸別所得保障制度へ、それに加えてTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加の是非。国内外において農業経営は深刻な局面を迎えています。未だその政策をはっきりと捉えることが出来ませんが、我々農業者にとって、長期的且つ希望が持てるものであつて欲しいものです。それに併せて、若者達がしっかりとした基盤を作り、次世代へとつなげて行くことを希望します。

- 〈農講〉2 鈴木一義 / 3 川端治 / 5 菅谷誠・渡辺善信 / 7 大沢義一 / 8 植田博 / 9 森田洋三 / 10 森山睦美 / 11 大平清吉 / 13 辺見政孝 / 16 小南和夫 / 17 佐川満 / 18 吉田甫 / 19 西山利昭 / 20 河田裕 / 21 相沢勲 / 22 石川眞清 / 23 松崎文一 / 25 仲鉢昭夫
- 〈農大〉1 川本秀二 / 2 和田嘉晴 / 3 塩村昭博 / 4 石丸博雄 / 5 高井正行 / 6 道下貞夫 / 7 笹島喜郎 / 8 岩井敦史 / 9 井出和実 / 10 富山和也 / 11 石原英之 / 12 森本耕二 / 13 宮本茂行 / 14 牧村康弘 / 15 小松洋一 / 16 遠山昇治 / 17 田村直樹 / 18 大碓晋二 / 19 近藤大樹 / 20 三田浩司 / 21 佐藤昭徳 / 22 熊谷直哉 / 23 田中真理子 / 24 塚田秀則 / 25 齋藤かおり / 26 日光純一・渡邊基樹 / 27 柏葉宏樹・嶋貫一也 / 28 鈴木隆也・中澤光太郎 / 29 今西大和・今野大吾 / 30 山木秀幸・佐藤貴文 / 31 中澤好喜・幕田桂一 / 32 黒川昌毅・若木章宏 / 33 廣瀬正幸・下田奨 / 34 毛房智幸・原田宏幸 / 35 谷川和樹・那賀島充人
- 〈農大稲作〉1 吉田和浩 / 2 大江博之 / 3 穴戸聖 / 4 平塚美明 / 5 水嶋淳・伊藤優治 / 6 石川英樹 / 7 嶋田雅虎 / 8 泊り雅幸 / 9 石崎憲一 / 10 富樫孝 / 11 岡村博信 / 12 平隆之介 / 13 吉見拓也 / 14 吉村正之 / 15 森勇貴 / 16 石川大輔 / 17 竹内誠 / 18 國岡晃平 / 19 中山義之 / 20 外山隆祥 / 21 下道達也 / 22 黒田直樹 / 23 久保田和伸
- 〈農大研究〉1 内野康晴 / 2 加藤幸嗣 / 3 木村晴美 / 4 山岸淳 / 5 中西崇継 / 6 今西大和 / 7 仁井邦夫 / 8 鈴木健司 / 9 佐藤直哉 / 10 富永浩貴

期別世話役

同窓会総会のお知らせ

●第12回同窓会総会●

平成23年2月5日(土) 15:00～ 総会 農大会議室
18:00～ 懇親会・宿泊 本別温泉グランドホテル

3年に一度行う総会です。併せて懇親会も行います。ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ぜひご出席下さいますよう、よろしく申し上げます。
お申し込みは、お電話か、同封した用紙をFAXまたは郵送にてお願いします。

猛暑の夏



北海道立農業大学校

校長 鞍懸 周

寒さが日一日と増し、冬本番を迎えようとしています。同窓会の皆様にはお元気で活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校の運営に多くのご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年、春先の低温の後、一転して、夏には異常な高温が長く続き、農作物への影響も大きく、全道の作柄と同様、農大の作物も収量のダウンや品質の低下などがありました。

畜産でも、家畜の夏バテによる生乳の品質の低下などの他、今年、口蹄疫が宮崎県で発生し、十年前にも宮崎県に続いて本別町で発生したのと同じ構図が頭に浮かび、緊張の中、本校でも十分な防疫対策をとって対応してまいりましたが、道内を含め、他県で発生がなかったことは不幸中の幸いでありました。

日頃から実習に取り組んでいる農大の学生にとって、異常気象や、家畜の伝染病など、農業は思い通りにはならないこともあるという現実を体験したこと、学生の進歩の糧になるものと考えております。

今年の農業大学校も例年通り行事が行われていきます。

春には、新入生の歓迎と体力の増進のため、駅伝と強歩大会を実施し、夏には、お客様をお迎えして、農大祭も元氣に行われ、気力あふれる体育大会も行われました。

秋の農大市でも、大勢のお客様に、たくさん農畜産物を買って頂きました。

農業大学校の特徴は、何と言っても実践的な教育です。

自分で定めた課題を、自分が考えた段取りと作業で責任を持ってやり遂げることを通じて、農業の技術や経営を学び、さらに自分が作った農畜産物の販売を通して、買っていただくことの厳しさも体験して成長しています。

我々農大職員としては、経営感覚を持った視野の広い農業の担い手として学生を送り出すことが大きな使命と考えており、職員一同全力を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。同窓会の皆様には、今後とも変わらぬ暖かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究大同窓会開催
歴代の卒業生が大集合!!

農業経営研究科の第一期生が卒業して十年が経つ節目の年である本年、十周年を記念して大同窓会を開催しました。第一期生から今年の三月に卒業したばかりの第十期生、そして歴代の先生まで、総勢六十八名が会場である十勝川温泉、笹井ホテルに集合しました。当日は懐かしい恩師や旧友との再会に受付時から笑顔がこぼれていました。北海道内はもちろんの事、遠くは岩手県や静岡県からわざわざ足を運んでくれた面々もいました。卒業して地元に戻ってしまえば十年も年が離れている方々と語り合う機会は少なく、先輩方のご活躍に明日からの農業に対する刺激を頂きました。

懇親会、二次会と年代を越えて交流が深まり、更には場外編として部屋に戻ってから宴は続きました。今回は参加できなかったが、言伝で現役の十一・十二期生も参加したかったとの声が開けたことは、大変嬉しい話でした。最後には、十



五周年、二十周年にも同窓会を開催しようかと確認しあい、解散しました。今回、都合が付かずに参加できなかった方も、次回は是非とも参加していただきたいと願っています。

準備にあたりましては、一年をかけて十勝管内の実行委員にご足労いただき、会議を重ねてきました。また、根釧農試の山岸さん、農大研究科の成田専門普及指導員、同窓会事務局の方には大変お世話になりました。多くの方々から御志や差入れを頂き、誠にありがとうございます。紙面に厚くお礼申し上げます。

報告 外山 隆祥(研究九期)

意気て！生きて

三月に東京で開催された全国青年農業者会議で、卒業してからの自らの体験と変化を語った畑作園芸経営学科三十二期卒業の安丸千加さん（上富良野町）が、見事、最高位の農林水産大臣賞（意見発表の部）を受賞しました。今回はその発表を紹介します。

「意気て！生きて」 安丸 千加

ゼイタク。私はきつとゼイタクだ。特別不自由することなく生活しているし、希望する学校に行かせてもらったし、両親からもらった丈夫な体がある。なのに、私は満足していない。むしろ不満と不安と不確かな将来にもがいている。好きな「仕事」をしているはずなのに。

私は上富良野町で農家の三代目の長女として生まれた。耕地面積約7haでメロンを中心に、ハクサイや小麦などを栽培している。幼いころから畑が遊び場で、そこで働く両親の姿をみてきた。その頃から「土をいじる仕事」に興味があった。本格的にこの道へ進むことを考えたのは高校時代、同じ夢をもつ友人との出会いだった。まだ男中心の社会へ飛び込むことに戸惑っていた私に、「迷いなく「好きな仕事だから」と言った彼女が輝いてみえた。だから私は勉強するために、自信をつけるために、「好きな「農業」という職業に就くために本別の農業大学校へ進路を決めた。

農大では畑作と畜産コースがあり寮生活をする。畑作コースで女性は一人だった。勉強や実習の心配より、男性ばかりの環境に馴染めるか不安だったが、先輩や仲間たちに恵まれ、楽しい学校生活を送った。初めての作物管理に苦勞しながらも苦ではなかった。私はやっぱり農業が好き、ずっと農業をしていきたいと強い思いを胸に卒業し実家へ戻った。

◆ ◆ ◆

「春休みなの？」「お手伝いしてえらいね」「就職先探してやろうか」私が就農して一年目、周りからの反応はこうだった。なぜ？ほかの農家の息子と同じように後継者として希望して就農したのに、私はお手伝いさん扱いだった。とても惨めで悔しかった。さらにシヨックだったのは機械などの業者さんはろくに挨拶をしてくれない。私とはもかく母にも同じ態度で、親方である父だけには大きな声でこやかに挨拶をする。どうして？女だから？

変化しつつある農村社会だが、女性の評価は低いままだ。仕事や家事に追われ、親方からの文句が降りかかればストレス漬けの完成だ。「余計な口出しはするな」「仕事と家事は当たり前」「だというなら、女性の農業への希望は諦めにかわる。そして、沈黙して歩いてきた結果、女性は指示がなければ行動で



きないと低い評価は悪循環する。女性が目撃的に活躍できる場を確保することがもつと農業を魅力ある職業にしてくれるはずなのに。予想していなかった現実にストレスを感じ、次第に農業はできないと思うようになった。

◆ ◆ ◆

男性と対等に見られていない現実の中で不安だけが残った一年目の冬、「直売所をはじめてみたら？」と友人に勧められた。「楽しいよ」と話す彼女は活き活きしていてうらやましかった。そこで両親に相談してみると、二人とも協力すると言ってくれた。大工気のある八十歳の祖父が立派な小屋を建ててくれ、安丸家は一体何を始めるんだと近所の噂になった。

初めての試みに不安より期待が大きかった。手探りの中、友人や普及センターからアドバイスをもらい、実践した結果、予想以上の反応を得られた。設置したノートに書き込まれた感想に元気をもらった。消費者に直接「おいしかったよ」と言われたときは本当にうれしかった。気がつけば直売所をきっかけに会話が増え、家族環境による刺激を与えてくれた。直売所「安菜」は私の悩みを吹っ飛ばし、大きな原動力を与えてくれるのに一役も二役もかってくれたのだ。

と言われる。昨年までの私なら、言葉を濁していただろう。しかし、今は自信をもって「私が作りました」と言える。直売所を通じて、女性が置かれていた立場に問題意識を持ち、諦めず解決行動を起こすことが自分らしさを確立できると学んだ気がする。もう、女だからと後ろめたく考えることはやめた。

◆ ◆ ◆

私の今後は、まず直売所「安菜」ブランドを確立し、絶品な野菜を販売してもっと魅力ある店にすること。次に、女性後継者が活躍しやすい環境をつくること。そのためにグループを立ち上げて窮屈に感じている隠れ女性後継者を掘り出したい。農業だけでなく、商業などの異業種の方と食を通じて情報を交換し、女性の感性で癒しと健康という活力ある暮らしを築きたい。



そして最後に安丸家三代目として一生農業をすること。これが私の最大の夢だ。

ゼイタク。私はきつとゼイタクだ。自分の畑や店を持たせてもらったし、指導してくれる人たちに恵まれ、刺激し合える友人がいる。だけど、私は満足していない。もつともつと勉強も経験も足りない。大好きな「農業」をしているからこそ一生貪欲にがむしゃらに働きたい。

そして私は私を生きるために生きていく。

新しい仲間

就農して



畜産経営学科
三十五期生

谷川 和樹
(浦幌町)

皆さん元気にお過ごしでしょうか。僕は農大で学んだことを生かし、酪農経営を頑張っています。

農大での生活は、毎日が楽しく忘れられない思い出になりました。卒業後は、仲間とも会う機会が無く、なかなか大学でのことや就農してからの話をする機会がないので、会ったときは皆と話しをして、昔を振り返りたいです。僕は今、自家で授精を行っています。最初は注入に時間がかかっていましたが、今では注入も素早くできるようになり、授精の技術も上達しました。受胎率はまだ低いので、これからは受胎率向上を目標に頑張ろうと思います。機械作業も初めは操作がわからなかったり、取り付けに時間がかかっていましたが、今ではだいたいの機械の操作がわかり、作業もスムーズにできるようになりました。最近では機械作業の事故が増えてきているので、皆さんも安全に作業を行い、事故に気をつけてください。

どがあり、仕事の息抜きをしたり、先輩の話聞いて多くを学んでいます。最後に、農業は大変でつらいことがたくさんありますが、お互い経営者として助け合い、お互いに上を目指して頑張っていきたいと思います。

今年を振り返って



畑作園芸経営学科
三十五期生

那賀島 充人
(鹿追町)

どうも、畑園三十五期生の学科長でした那賀島充人です。夢と希望とのんびりを胸に就農してから半年以上の月日が経とうとしています。同期の皆は元気に農家ライフをケガなく、農大で過ごした二年間を自家で役立てながら楽しんでいきますか？自分はまだあまり変わっておらず、父が一生懸命働いてる中、私はのんびり仕事をしています。多分、これは一年目だから許されていくのかも。

さて、少々真面目な話に切り替わりますが、今年は去年同様、天候が悪く温度の上がり下がりが激しく、畑作に悪影響を及ぼし、収量が減る形になってしまいました。こんな不作の年が続くと農家を続けていくのが厳しいところが多数出てくると思います。来年以降からは、今年のような天候を予測し、対策を考えないといけません。農家の皆さん頑張りました。

んだ事を生かし、自家で明るくのんびり生産者として、自覚を持って生きていきたいと思っています。また皆と朝まで飲み明かしたものです。それまで汗、水、鼻水たらしながらガンバ

得たもの



稲作経営専攻コース
二十三期生

久保田 和伸
(比布町)

卒業して、もうすぐ一年になります。一年は早いもので、卒業したのが昨日のこのように感じられることもあり、就農してからの一年は慌ただしく、あまり思考が働かないことが多くあり、そのたびに自分の不甲斐なさや現場の農業の厳しさを感じました。ですが同時に拡大や農大で培ったことに助けられた場面もいくつもありました。今、私は家の水田、麦、大豆を手伝いながら地域の栽培受託組織でお仕事を手伝わせてもらっています。最初は不安がありました。地域の人が親切に接してくれたので今は何とかやれています。今年から地元青年部にも入ったので地域の活動にもたくさん参加して、もっと広い見識を身につけ町とのパイプも繋いでいきたいと思っています。

昨今、農業関連の明るい話をあまり聞かなく、これから農業はどうなっていくのかと不安を抱いたり、農業を続

農大を卒業して



農業経営研究科
十期生

富永 浩貴
(美瑛町)

けていく自信がなくなったりすることもありました。ですが農大や拓大で出会った講師の方々の話や、仲間が頑張っている話を聞くと自分も頑張ろうと思えるようになります。農業の知識もそうですが、私が学校で得た一番のものは仲間かもしれません。道外れた話でしたが、人間励まし合い互いに頑張ること、先に進めるものだと感じた昨日でした。

農大のみなさん、同期のみなさんお元気ですか？今年の春に四年間の農大生活を終え、農家一年目として働き始めました。農大での生活は素晴らしい経験であったと、就農してから特に思います。養成課程では、人間関係を作る上で、信頼というものがどれだけ大切か学べました。研究科では、畜産関係の人に出会えたことにより、新たな知識が得られました。そして、養成・研究課程での最大の経験は寮生活です。寮生活ではいろいろなありました。今となっては飲み会があれば夜中まで騒いだり、みんなどこかに出かけたりしたことがなつかしいです。

今年を振り返ると、就農一年目ということもあり、仕事を覚えている内に一年が終わったように思えます。また、

作物の栽培というのは自分の思い通りには行かないことを改めて痛感させられました。しかしこれが農業、天候に左右され上手くないが、その難しさが挑戦意欲を高め農業の魅力の一つであると感じます。

これからは、経営改善はもちろんですが、地域を盛り上げて行きたいという目標もあります。これらの目標を達成できるように頑張ります。皆さんも、それぞれの目標に向かって頑張りますように。

トピックス
デパ地下で農大和牛をPR

農業大学校では十月六〜十九日に行われた大丸札幌店の「WE LOVE 北海道フェア」にて十勝枝肉市場で最高ランクのA-5に格付けされた牛肉を販売しました。

十六日には畜産経営学科肉牛管理部の二年生が地下一階精肉売り場に立ち、安全で品質の高い農大産黒毛和牛を自



緊張しながらも、農大和牛の品質を伝えることができました。



値段に負けない見事な霜降り、これまでの努力の結晶です。

らPRしました。

普段はツナギ姿で牛舎の牛を世話する学生達ですが、この日はやはりネクタイにエプロンのスタイルで接客をしました。最初は緊張していましたが、次々と訪れる買い物客に、「生産者」として自分達が手塩にかけて育てた農大産和牛の説明を行い、自分たちの想いを消費者に直接伝えることができました。

期別活動

農講二十一期生同窓会

幹事 相澤 勲

いや〜 なつかしい！

阿寒に集まった顔・顔・顔、還暦を節目に去る二月六日、北海道立農業講習所二十一期生同期会に三十一名が参加しました。四十五年ぶりの人もおり

間と共のうち、解け、宴会の頃には四十五年という時間が戻ったかのような賑わいでした。

また、仕事の合間に全道を回って一年以上かけた小木俊一君のアルバム作りも七十六名まで



撮影でき当日欠席でも当時の面影のある現在の姿を見ること

が出来たのは本当に小木君に感謝です。残念だったのは当日悪天候の為、三名の欠席者が出たこと

でした。そこで、四月十一日に再度北見地区の幹事で二回戦を行い、二十三名の出席で盛大に開催出来たことは本当に良かったと思います。次に会える日を楽しみに散会致しました。

畜産二十七期生同窓会

幹事 高桑 隼人

平成二十二年四月十七日に農大卒業後二度目の同期会が帯広市内にある「居酒屋赤ちようちん」にて開催されました。当時担任して

いただいた宮森先生、副担任の川原先生にも参加していただき、総勢十五名で賑やかな時間を過ごしました。



卒業して八年、皆それぞれの場所で活躍されており、結婚して家庭を持つ人、就農・就職して真面目に働いている人、青年会や趣味を通して地域の活性化に励む人などそれぞれの近況を話したりして時間の限り語り合いました。

た。

今回は二年後、卒業後十年目という約束をし、再会を楽しみに解散しました。

畜産二十四期生同窓会

幹事 毛房 智幸

三月二十六日に帯広市内にて畜産経営学科三十四期生の第一回同窓会が開催され、二十名が集まりました。

卒業以来ひさびさに会うみんなは、それぞれの道を歩み、大人びたように感じました。みんなでお酒を酌み交わしながら、思い出話に花が咲き、話題が尽きることはありませんでした。

また、久しぶりに集まったメンバーはそれぞれの想いを語っていただきました。



今回の同窓会は僕たちの担任だった、川上あづさ専門普及指導員が農大から十勝農業改良普及センター本所に異動が決まったので送別会も兼ねて開催しました。

これからも一年に一度くらい同窓会を開き、みんなが集まり技術の情報交換や交流をしていきたいと思っています。そしてこの絆をずっと大切にしていきたいと思っています。

畑園三十三期生同窓会

幹事 本山 賢憲

平成二十二年一月十六日に畑園三十期生の同期会を開催しました。はじめにこの同期会に協力してくれた人たちに感謝申し上げます。前々から計画を立ててなかったこともあり参加人数は先生方も合わせて十九人でした。

しかし、始まってみれば宴会は盛り上がり、大成功だったと思います。畑園を卒業して二年が経ちますが、あの頃と変わらない、どこか懐かしい感じでした。しかし、みんなは二年間自家の経営や青年部の活動にもまれて考えが成長して



おり、良い刺激になりました。このような刺激し合える仲間が全道各地にいることはとても頼もしいことです。今回は半分程度の人しか集まりませんでした。三十三人が揃ってこそその畑園三十期です。今度はみんな集まって開催できることを願っています。

畑園二十五期生同窓会

幹事 松浦 亮太

皆さん、お元気ですか？ポクは相変わらず元気です。さて、七月四日に農

大祭が開かれ、久々にみんなが顔を合わせました。卒業してから会っていない人と再会する事ができ、みんな元気そうでもとても懐かしく感じました。

せっかく全道各地から集まったのに昼間は仕事で農大祭に参加できなかった人もいたため、改めて夜に集まることにしました。集合時間までは各自フリーとやっぱり基本はノープランですが、時間にちゃんと集まり少し大人になったのだと思いました。何だかんだ集まると盛り上がるもので、とても楽しい会食になりました。ポクは色々あってお腹の調子が一かろくヤバイ状態になっていました。

まだ農大を卒業して間もないですが、学生時代がとても素晴らしかったです。次はみんなパティーしよう！朝まで酒盛りしたい！！



稲作二十期生同期会

幹事 外山 隆祥

去る、平成二十一年十一月二十八日に稲作経営専攻コース二十期生の同期会を旭川市の「酔処 鮮味家」にて開催しました。今回は担任の八重樫さんを交え卒業生九名が集まり、久々の再

会を喜びました。「昔と変わらないな」という定番の台詞も出る中で大きな変化といえば、同期の辻君が結婚し、秀囲気が変わってしまいました。お祝いムードの中、結婚についてそろそろ意識し始めているメンバーもいたようです。



事務局からのお知らせ

- 1 住所の変更について
引越等、住所が変更になった場合は、同窓会事務局までお知らせ下さい。会報の発送先を変更いたします。また、会報が届いていない同窓会員のほうがいらっしゃいましたら、お知らせ下さい。
- 2 支部活動・同期会の助成について
支部活動及び期別活動を計画された際には同窓会事務局までご一報下さい。諸経費の一部を助成します。活動の様子は、ホームページや会報等で活動を紹介させていただきます。
- 3 「同窓生の広場」への投稿について
同窓会事務局では、聖鋏会報「同窓生の広場」への投稿を受け付けております。投稿される方は事務局までお気軽にご連絡下さい。

編集後記

4 同窓会ホームページについて
同窓会ホームページには掲示板を用意しています。会員同士の交流の場として是非ともご利用下さい。その他、支部会開催のお知らせ、開催結果、その他活動等について、ご要望がございましたらホームページに掲載致します。ご希望がございましたら、事務局までご連絡下さい。

▽年の瀬も迫り、あわただしい日々が続いていますが、会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。今年も聖鋏会報をお届けします。▽校長の挨拶にもありましたが、今年も低温や、口蹄疫の発生など農業関係者にとっては大変な年になりました。▽一昨年、昨年と猛威をふるったマイマイガは今年も幼虫が多く発生し、大発生を覚悟しましたが、今年の発生は少なく卵塊もほとんどありません。▽原因ははつきりと特定されていませんが、もともと十年程度の周期で大発生するらしく、しばらくは心配不要のようです。▽さて、本年度は三年に一度の同窓会総会が二月に開催されます。詳細については別紙にて御案内しますが、同窓会員の皆様のご参加をお待ちしております。
(事務局)